

令和3年度 静岡県への移住に関する調査

<調査結果>

- 調査目的 移住相談者の意識等を把握し、今後の施策に活用する。
- 調査方法 静岡県内移住者・移住検討者に対するインターネット調査（メールによる告知・案内）
- 調査対象 静岡県内移住者・移住検討者（県や市町の移住相談窓口利用者・メールアドレス登録者）

- 回収数 246サンプル

	配信数	回答数	回収率
静岡県内移住者(*)	292人	120人	41.1%
静岡県内移住検討者(*)	991人	126人	12.7%
合計	1283人	246人	19.2%

*調査案内時点での移住計画の状況

- 調査期間 2021年7月16日（金）～8月3日（火）

静岡県内移住者・移住検討者に対する調査の結果概要については以下のとおりである。

- **移住前の居住地（Q3）**
 - ・関東エリアで8割を占め、都道府県別でも東京都が4割、神奈川県が2割以上を占めている。
- **移住の動機（Q9）**
 - ・「自然豊かな環境」「地方・田舎の暮らしに関心」「住まい」「都会生活の疲れ」などが上位項目となっている。
 - ・コロナ禍において「新型コロナウイルス」も動機の1つとして選択されているが、上位項目には入らず「自然豊かな環境」が第一の動機となっている。
- **静岡県に興味を持ったきっかけ（Q13）**
 - ・「海が近い」「首都圏に近い」「観光、出張で訪れた」「富士山が見える」「地縁・血縁」が上位項目となっている。「海が近い」ことは各年代で1位となっており、「温泉」は50代・60代で上位項目となっている。
- **静岡県の魅力（Q14）**
 - ・「自然環境」「首都圏に近い」「温暖な気候」「食べ物がおいしい」「富士山が見える」が上位項目となっている。
- **移住の決め手（Q22）**
 - ・「静岡県での仕事が決まった」「東京圏に近い」「担当者が親身に対応」「ゆかりのある地域」が上位項目となっている。

- ◆ **静岡県の強みは豊かな自然や首都圏からの近接性といった恵まれた環境にあり、移住者や検討者にもその魅力が伝わっている。**
- ◆ **一方で、移住の決め手は仕事のカギを握っている。静岡県内で仕事があるか、または静岡県から通勤できるか、が重視されており、雇用者と移住希望者のマッチングや、移住者の通勤補助に期待する声も散見された。**

番号	質問	回答者
あなたご自身について		
F1	あなたの性別を教えてください。	全員
F2	あなたの年代を教えてください。	全員
F3	現在の世帯構成を教えてください。	全員
移住計画の現況について		
Q1	移住計画について、現在の状況を教えてください。	全員
Q2	移住先・移住予定先の静岡県内の市区町を教えてください。 (複数検討されている方は、可能性の高いものを1つだけ選んでください)	Q1=1or3 回答者 [県内移住者・決定者]
Q3	移住前の居住地(都道府県)を教えてください。 ※既に移住をした方は、移住前の居住地をお答えください。 ※まだ移住をしていない方は、現在の居住地をお答えください。	全員
Q4	静岡県以外で移住を検討した地域(都道府県)を教えてください。 ※既に移住をした方・移住先を決定した方は、移住先の市町と比較検討した地域(都道府県)を教えてください。 ※移住先を検討中・移住をしていない方は移住を検討している地域(都道府県)を教えてください。	全員
移住前・移住後のご職業・住まいについて		
Q5	移住前の、あなたの世帯で主たる収入を得ている方のご職業を教えてください。(本業としているものを1つだけお答えください) ※既に移住をした方は、移住前のことでお答えください。 ※移住検討中・移住をしていない方は、現在のご職業をお答えください。	全員
Q5 SQ1	移住前の、あなたの世帯で主たる収入を得ている方の就業形態を教えてください。 ※既に移住をした方は、移住前のことでお答えください。 ※移住検討中・移住をしていない方は、現在の就業形態をお答えください。	Q5=1-14 回答者 [有職者(学生・無職除く)]
Q5 SQ2	移住前に、あなたの世帯で主たる収入を得ている方はテレワークをしていましたか。実施頻度を教えてください。 ※既に移住をした方は、移住前のことでお答えください。 ※移住検討中・移住をしていない方は、現在の状況をお答えください。	Q5=1-14 回答者 [有職者(学生・無職除く)]
Q6	移住後の、あなたの世帯で主たる収入を得ている方のご職業を教えてください。(本業としているものをお答えください) ※既に移住をした方は、移住後のことでお答えください。 ※移住検討中・移住をしていない方は、移住後のご職業(希望)をお答えください。	全員
Q6 SQ1	移住後の、あなたの世帯で主たる収入を得ている方の就業形態を教えてください。 ※既に移住をした方は、移住後のことでお答えください。 ※移住検討中・移住をしていない方は、移住後のご就業形態(希望)をお答えください。	Q6=1-15 回答者 [有職者(学生・無職除く)]
Q6 SQ2	移住後に、あなたの世帯で主たる収入を得ている方はテレワークをしていますか。実施頻度を教えてください。 ※既に移住をした方は、移住後のことでお答えください。 ※移住検討中・移住をしていない方は、移住後の実施頻度(希望)をお答えください。	Q6=1-15 回答者 [有職者(学生・無職除く)]
Q7	移住後の住居形態を教えてください。 ※既に移住をした方は、移住後のことでお答えください。 ※移住検討中・移住をしていない方は、移住後の住居形態(希望)をお答えください。	全員
Q8	移住後の住居の所有形態を教えてください。 ※既に移住をした方は、移住後のことでお答えください。 ※移住検討中・移住をしていない方は、移住後の所有形態(希望)をお答えください。	全員

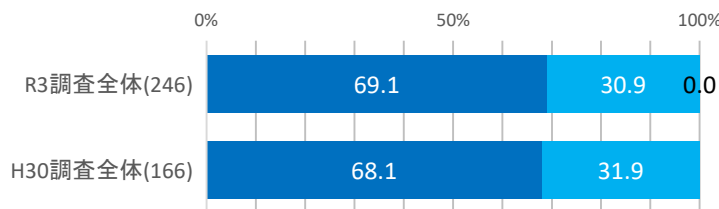
番号	質問	回答者
静岡県への移住の検討について		
Q9	移住を考えた動機は、どのようなことですか。	全員
Q10	移住先を検討する際に、どのようなところから情報を集めましたか。(3つまで) (これから検討する方は、どのようなところから情報を集めようと思いますか)	全員
Q11	静岡県への移住は、下記のどちらのタイプに該当しますか。※移住を検討中の方は可能性の高いものを選択してください。	全員
Q12	静岡県を移住先・移住予定先にする前の、あなたと静岡県との関係で当てはまるものを全て教えてください。 ※既に移住をした方は、静岡県を移住予定先とする前のことでお答えください。 ※移住検討中・移住をしていない方は、静岡県を移住予定先にする前のことでお答えください。	全員
Q13	静岡県への移住に興味を持ったきっかけは、どのようなことですか。 (前問と類似する部分もありますが、改めてお答えください。)	全員
Q14	他都道府県と比較した際の静岡県の魅力を教えてください。	全員
Q15	静岡県への移住の検討を進める上で、課題となっている(課題となっていた)ことを最大3つまで教えてください。	全員
Q16	どのような支援があると、静岡県への移住の可能性が高まりますか。	Q1=5-6 回答者 [移住検討・停滞者]
Q17	移住の検討において、困っていることはありますか。 (検討しているが進まない方は、進まない理由は何ですか。)	Q1=5-6 回答者 [移住検討・停滞者]
Q18	最終的に、移住することをやめたのはどのような理由でしたか。差し支えない範囲で結構です。お答えください。	Q1=7 回答者 [移住断念者]
Q19	静岡県以外に移住することを決めた理由をお書きください。	Q1=2or4 回答者 [県外移住者]
静岡県での移住生活について		
Q20	移住を検討し始めてから決定するまでに、どのくらいの期間を要しましたか。	Q1=1or3 回答者 [県内移住者・決定者]
Q21	静岡県に移住した時期は今からどのくらい前でしたか。	Q1=1 回答者 [県内移住者]
Q22	静岡県への移住の決め手について、上位3つを教えてください。	Q1=1or3 回答者 [県内移住者・決定者]
Q23	静岡県への移住にあたり、利用した制度があれば、すべて教えてください。	Q1=1or3 回答者 [県内移住者・決定者]
Q24	静岡県へ移住して、家計収入・家計支出は変わりましたか。 (1)家計収入 (2)家計支出	Q1=1 回答者 [県内移住者]
Q25	静岡県での移住後の生活について、満足度を教えてください。	Q1=1 回答者 [県内移住者]
Q26	静岡県へ移住して、良かったことや、移住前のイメージ以上だったことはありますか。	Q1=1 回答者 [県内移住者]
Q27	静岡県へ移住して、困っていることや、移住前のイメージと違ったことはありますか。	Q1=1 回答者 [県内移住者]
Q28	静岡県への移住後の生活について、定住のためにはどのような支援が必要だと思いますか。	Q1=1 回答者 [県内移住者]
Q29	県内には、以下の子育て支援事業に取り組んでいる市町があります。これからの子育て支援としてどのような事業に魅力を感じますか。上位3つまで選択してください。	Q16=9 or Q22=15-16 回答者 [子育て環境重視者]

回答者属性／移住計画の現況について①

- 静岡県内への移住者・移住検討者の年代構成は、「40代」27.6%、「50代」25.6%、「30代」24.0%が中心。
- 移住の現況については、「静岡県へ移住済み」50.8%、「静岡県へ移住決定」2.8%で、「静岡県への移住者・決定者」は53.6%。その他「移住実現に向けて検討中」は19.9%、「検討しているが進まない」は24.0%だった。
- 県内での移住先は「伊豆」「県東部」が各3割となっている。

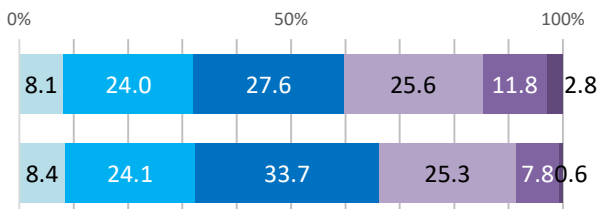
F1 性別

■ 男性 ■ 女性 ■ その他



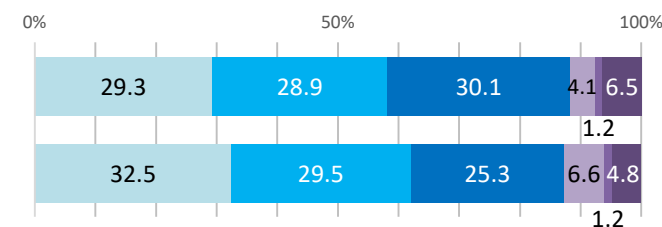
F2 年代

■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代 ■ 70代以上



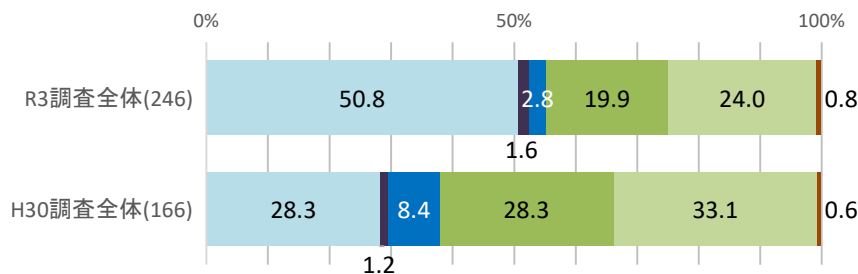
F3 世帯構成

■ 単身 ■ 二世帯(夫婦と子) ■ 三世帯
■ 夫婦のみ ■ 二世帯(父又は母+子) ■ その他



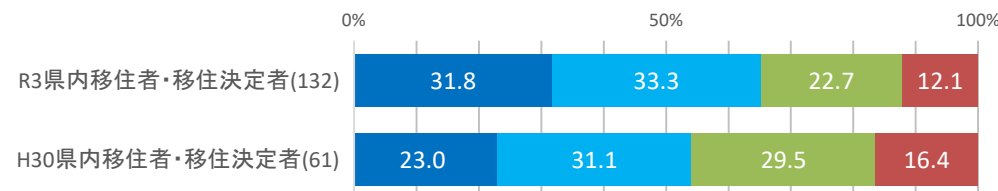
Q1 移住計画の現状について

■ 静岡県へ移住済み ■ 静岡県以外へ移住済み
■ 静岡県への移住の目途がたった ■ 移住実現に向けて検討中
■ 検討しているが進まない ■ 移住することは諦めた



Q2 移住先(静岡県内市町)

■ 伊豆 ■ 東部 ■ 中部 ■ 西部



【伊豆】 42人

- ・西伊豆町 11
- ・下田市 9
- ・伊豆の国市 8
- ・伊東市 7
- (熱海市/河津町) …2
- (伊豆市/東伊豆町/松崎町) …1

【東部】 44人

- ・三島市 17
- ・富士宮市 13
- ・沼津市 5
- (富士市/裾野市/函南町/長泉町) …2
- (清水町) …1

【中部】 30人

- ・焼津市 9
- ・静岡市葵区 6
- ・藤枝市 5
- ・牧之原市 5
- ・静岡市駿河区 2
- (静岡市清水区/島田市/吉田町) …1

【西部】 16人

- ・御前崎市 4
- ・浜松市中区 3
- ・浜松市東区 2
- ・森町 2
- (浜松市南区/浜松市浜北区/浜松市天竜区/磐田市/菊川市) …1

移住計画の現況について②

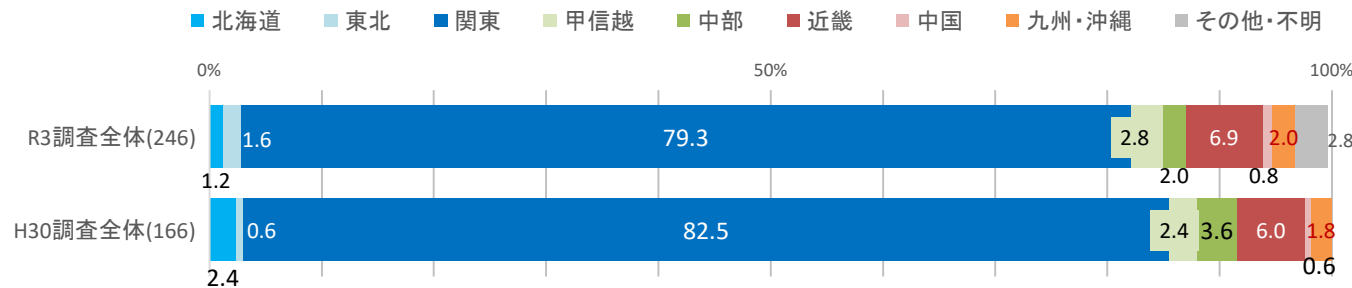
- 移住前の居住地は「関東」エリアが79.3%を占める。都道府県別にみると、「東京都」「神奈川県」「埼玉県」「千葉県」といった「関東」エリアが上位となっており、「東京都」と「神奈川県」の2都県だけで64.2%を占めている。
- 検討した移住先は「静岡県のみ」が最も高く35.0%、次いで「神奈川県」が17.9%、「長野県」15.4%、「山梨県」13.4%などとなっている。エリア別で再集計すると、「関東」エリアが32.1%、「甲信越」エリアが25.2%、「九州・沖縄」エリアが13.8%となっている。

※各エリアに含まれる都道府県

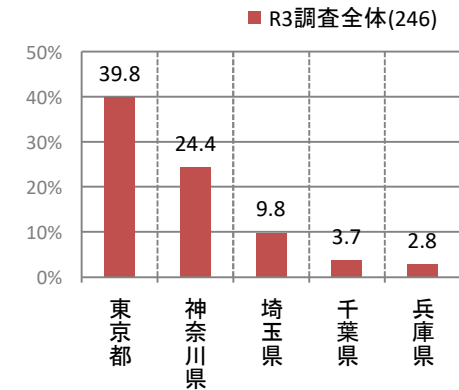
東北：青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島／関東：茨城・栃木・群馬・埼玉・東京・千葉／甲信越：新潟・富山・石川・福井・山梨・長野／中部：岐阜・愛知・三重／近畿：滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山／中国：鳥取・島根・岡山・広島・山口／四国：徳島・香川・愛媛・高知／九州：福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島

Q3 移住前の居住地(出身県)

<エリア別>

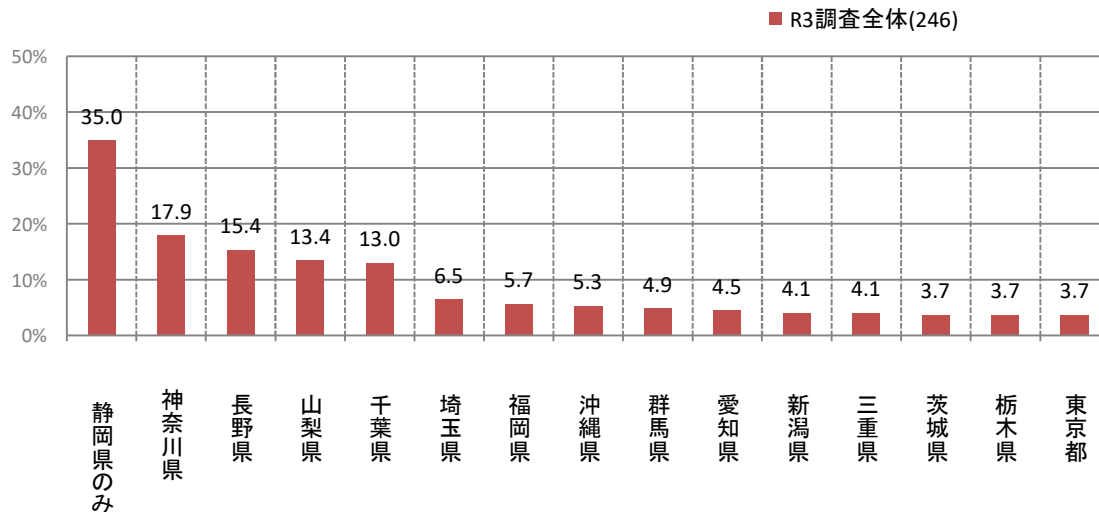


<出身地 TOP5>

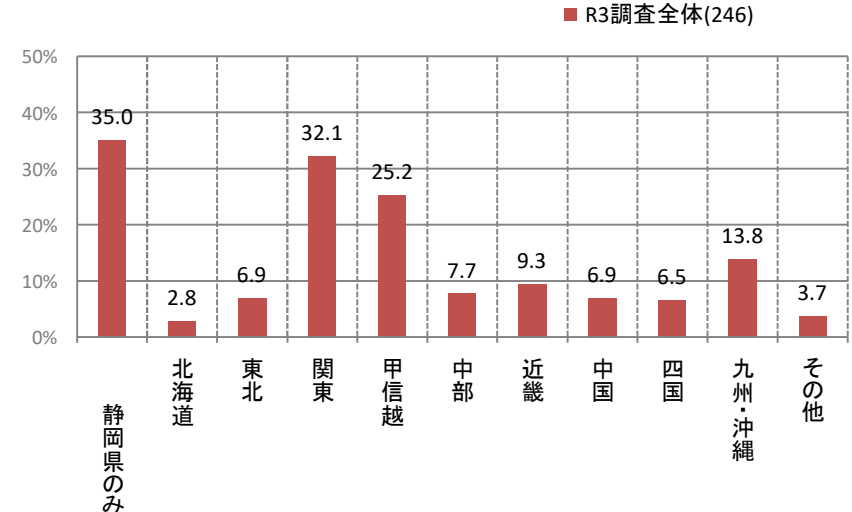


Q4 静岡県以外で検討した移住先 ※複数回答可

<検討した移住先 TOP15>



<エリア別>※再集計



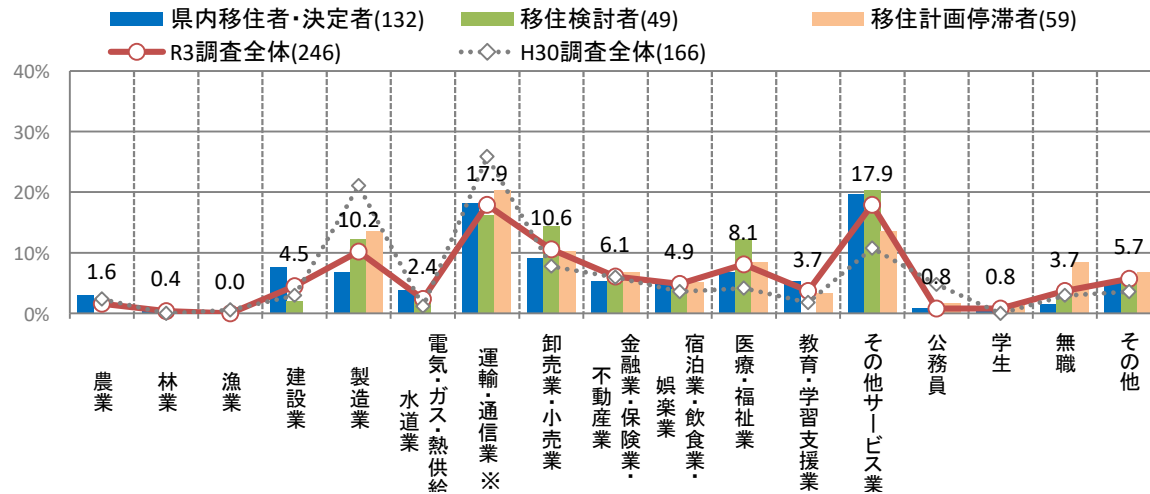
移居前・移住後の職業について

- 移住前の職業については、「運輸・通信業」と「その他サービス業」が17.9%の同率でトップ、次いで「製造業」10.2%となっている。「正規職員・従業員」は62.1%を占めた。テレワークについては「未実施」が66.2%と大半を占め、実施経験者は3割となっている。
- 移住後の職業については、「その他サービス業」13.0%、「運輸・通信業」11.0%のみが10%以上と、希望が分散している印象。前回調査(H30年度)でトップの「農業」は22.3%→8.1%と、14.2ポイントダウンした。就業形態は移住前と比較すると「正規職員・従業員」が低くなり、「自営業主」、「自由業・起業」は高くなっている。

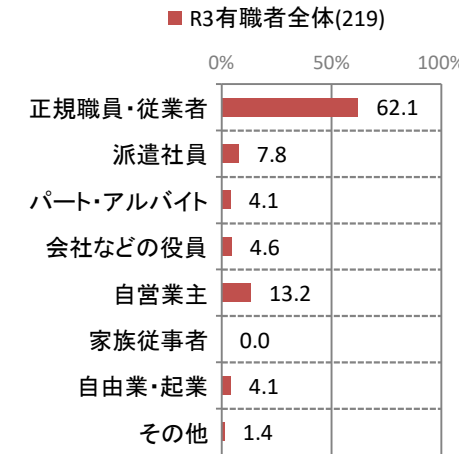
※H30年度調査では「運輸業・郵便業」、「通信業・放送業・情報サービス業」。

Q5 移住前の職業・就業形態・テレワーク実施状況(世帯で主たる収入の方)

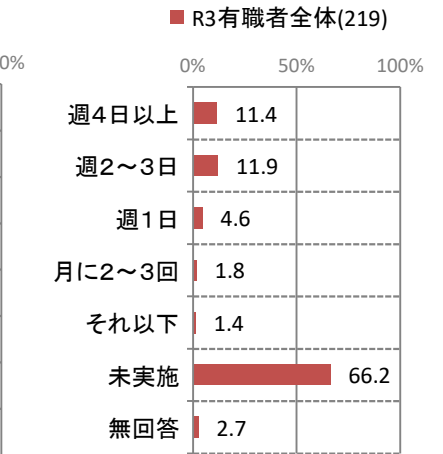
<移住前の職業>



<移住前の就業形態>

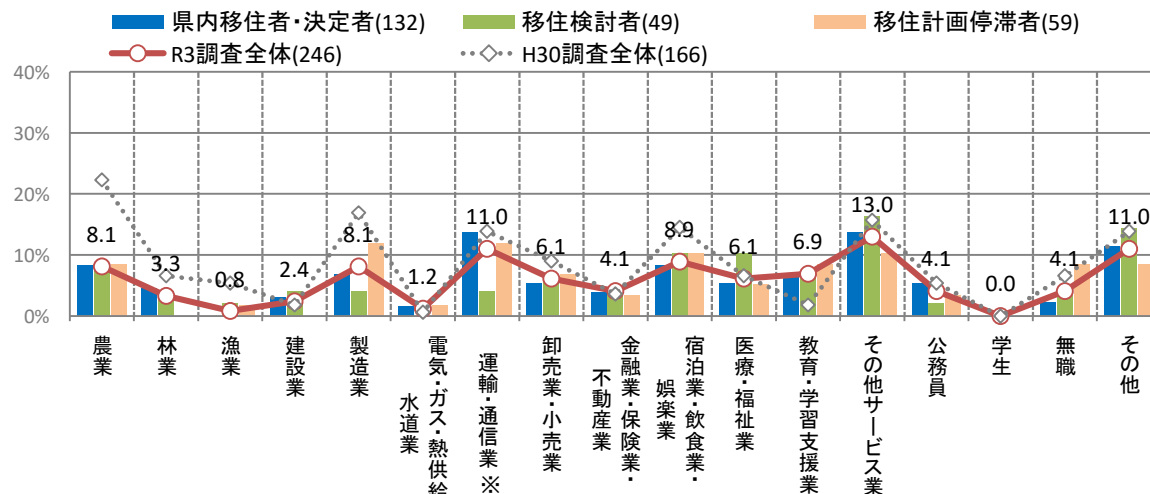


<移住前のテレワーク実施状況>

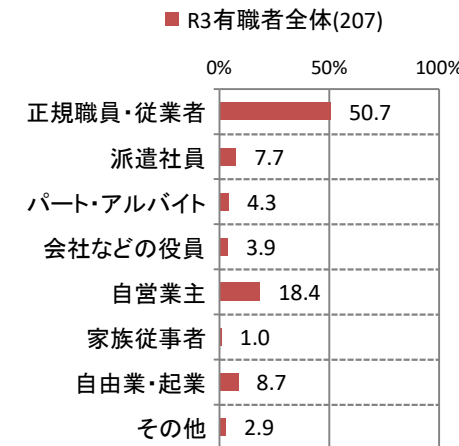


Q6 移住後の職業・就業形態・テレワーク実施状況(世帯で主たる収入の方)

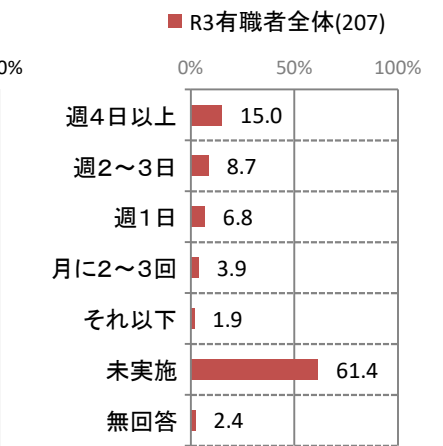
<移住後の職業>



<移住後の就業形態>



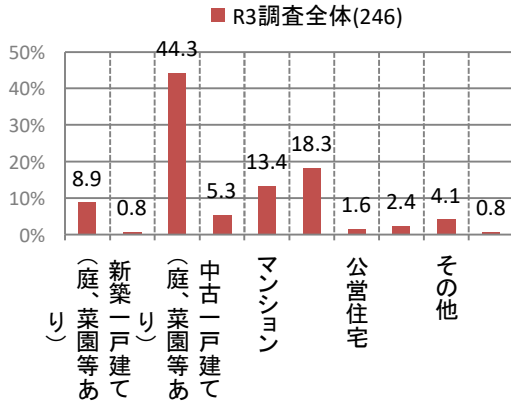
<移住後のテレワーク実施状況>



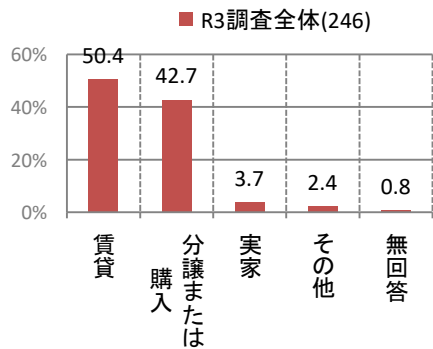
移住後の住まいについて／移住の動機・情報収集について①

- 移住後の住居は「中古一戸建て(庭あり)」44.3%が高く、所有形態は「賃貸」50.4%、「購入」42.7%とほぼ二分される。
- 移住を考えた動機については、「自然豊かな環境」61.0%、「地方・田舎暮らしに関心」47.6%、「住まい(住環境を変えたい)」42.3%、「都会生活の疲れ」36.6%が上位で、割合、順位とも前回調査と同様となった。
- 年代別にみると、「自然豊かな環境」は20～60代の幅広い世代で高く、「都会生活への疲れ」は若年世代ほど高い傾向となっている。その他、20代では「仕事」、30代・40代では「子育て環境」、50代・60代では「田舎暮らし」「健康への配慮」が高いのが特徴的。

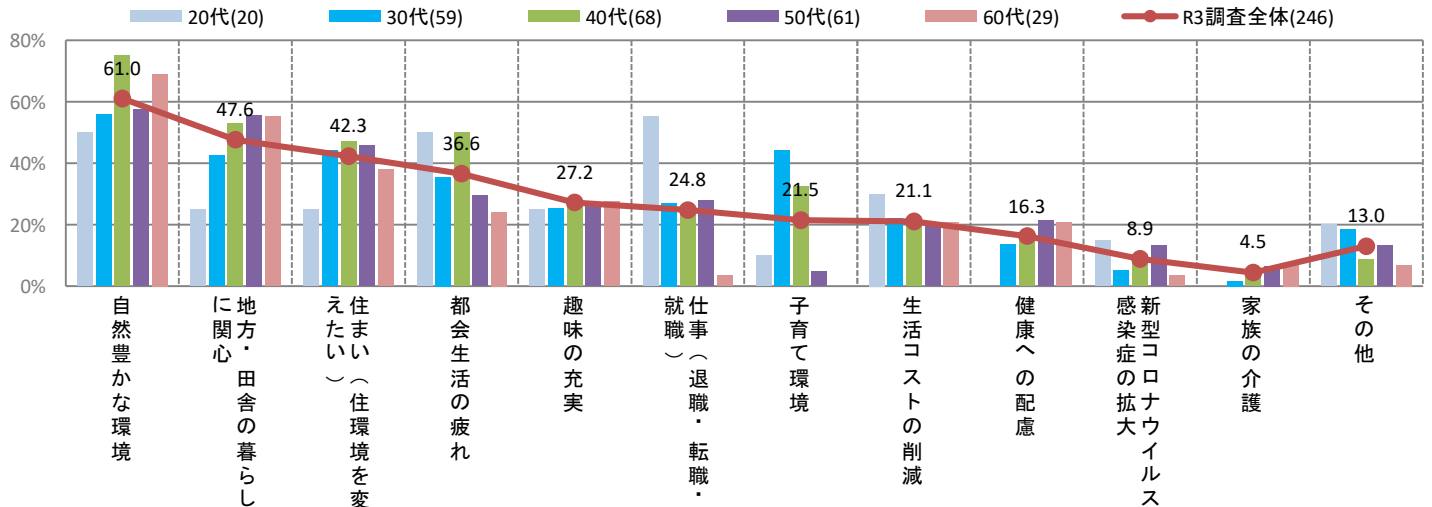
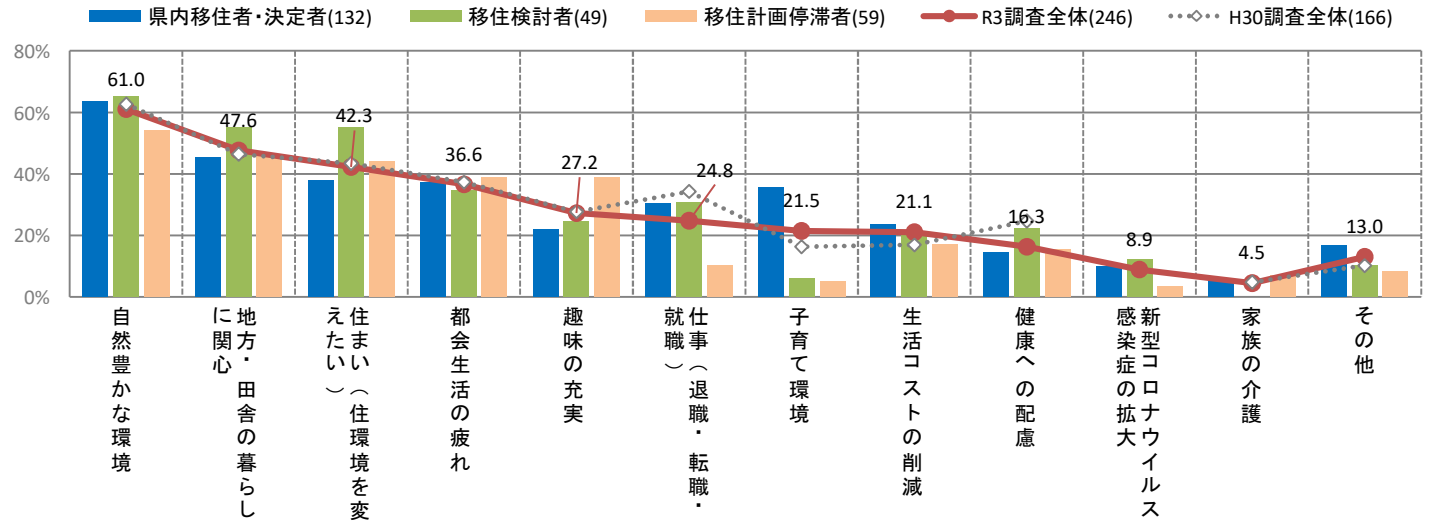
Q7 移住後の住居形態



Q8 移住後の住居の所有形態



Q9 移住を考えた動機 ※複数回答可

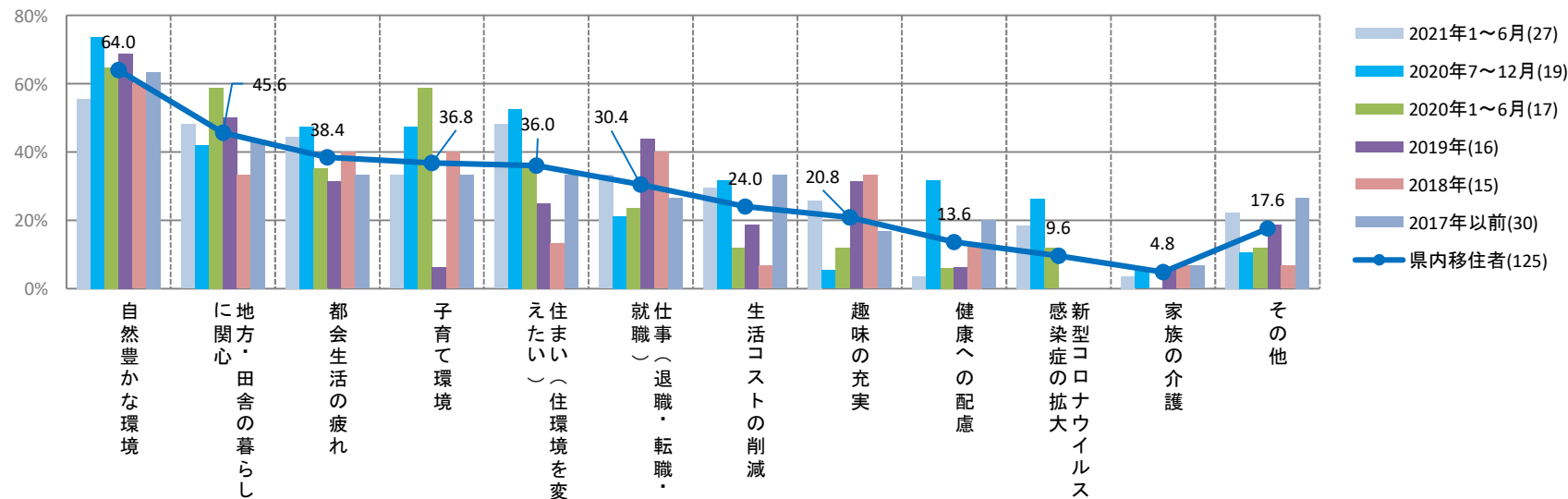


移住後の住まいについて／移住の動機・情報収集について②

- 移住時期別で移住の動機をみると、「自然豊かな環境」は各時期においてトップ項目となっている。「新型コロナウイルス感染症の拡大」は【2020年1～6月】で11.8%（12項目中10位）、【2020年7～12月】で26.3%（同8位）、【2021年1～6月】で11.8%（同7位）と、数値・順位とも低く、上位の動機とはなっていないことがうかがえる。

Q9 移住を考えた動機 ※複数回答可

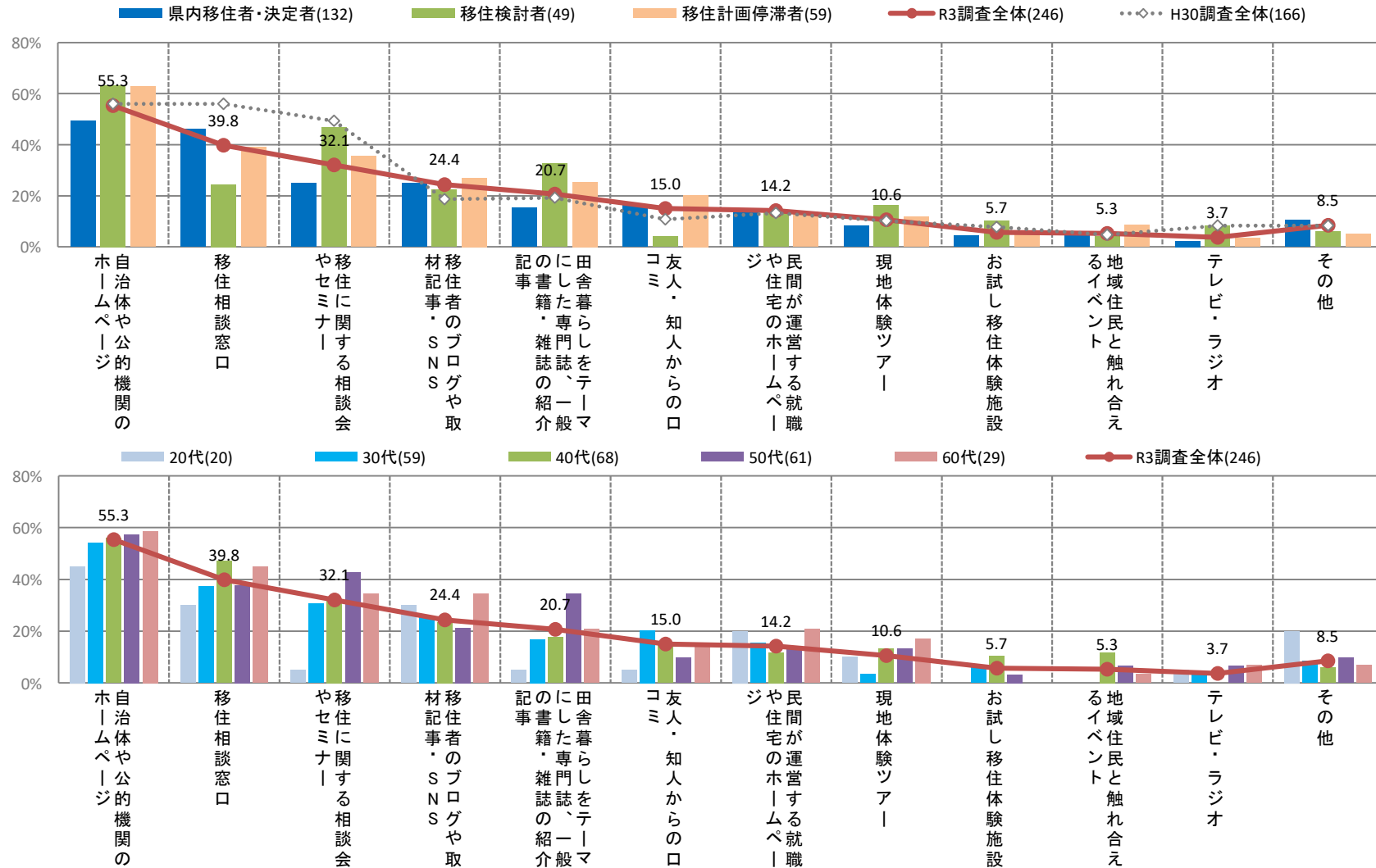
＜移住時期別＞ ※県内移住者のみ



移住の動機・情報収集について③

- 移住先を検討する際の情報入手先については、「自治体や公的機関のホームページ」55.3%、「移住相談窓口」39.8%、「移住に関する相談会やセミナー」32.1%が上位。前回調査と比べ、「移住相談窓口」(前回56.0%→▲16.2ポイント)、「移住に関する相談会やセミナー」(前回49.4%→▲17.3ポイント)の割合が大きく下がり、新型コロナウイルス感染症の影響がうかがえる。
- 移住者・決定者では「移住相談窓口」、移住検討者では「相談会やセミナー」の割合が高い傾向にある。

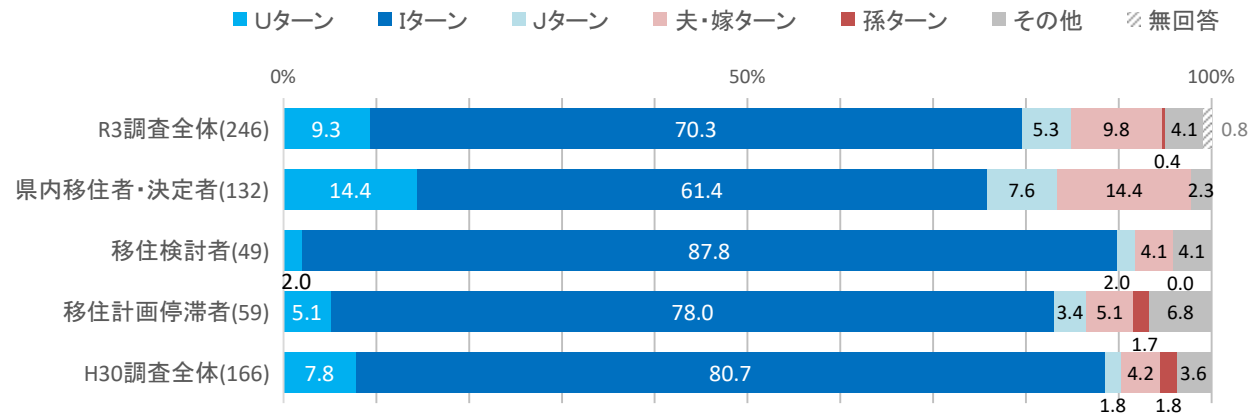
Q10 移住先を検討する際の情報入手先 ※上位3つまで回答



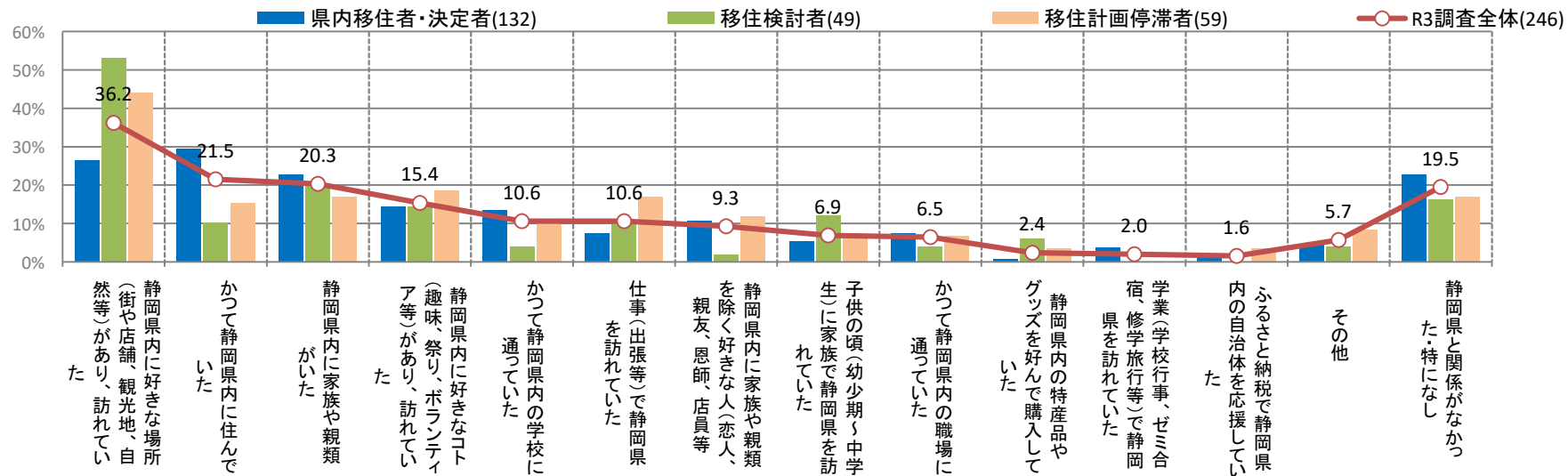
静岡県への移住の検討について①

- 静岡県への移住のタイプは、「Iターン」が70.3%と圧倒的な割合となった。県内移住者・決定者では「Uターン」や「夫・嫁ターン」がやや高くなっている。
- 移住前の静岡県との関係では、「好きな場所に訪問」が36.2%で最も高く、次いで「かつて住んでいた」21.5%、「家族や親類がいた」20.3%、「特になし」19.5%となっている。県内移住者・決定者では「かつて住んでいた」が29.5%で最も高く、移住検討者では「好きな場所に訪問」が53.1%で特に高い。

Q11 静岡県への移住のタイプ



Q12 移住前の静岡県との関係 ※複数回答可

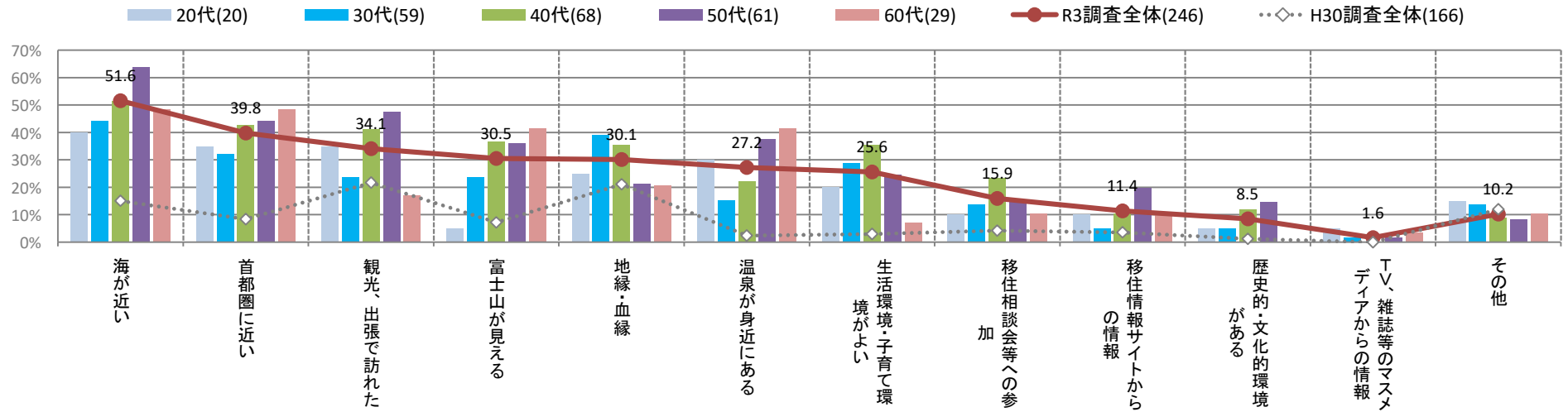


静岡県への移住の検討について②

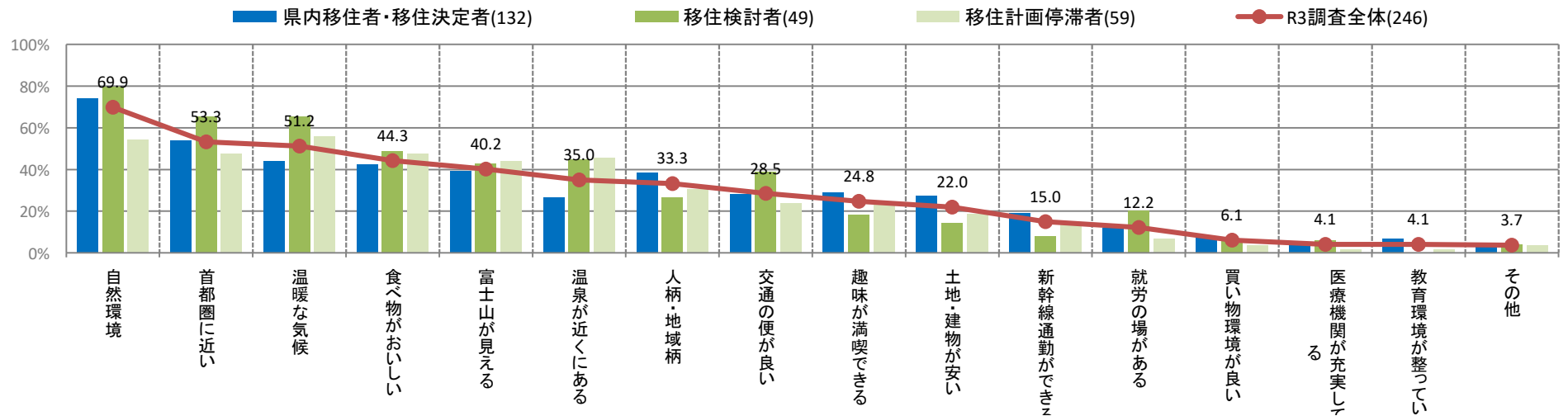
- 静岡県への移住に興味を持ったきっかけについては、「海が近い」「首都圏に近い」「観光、出張で訪れた」「富士山が見える」「地縁・血縁」が上位項目となっている。年代別でみると、「海が近い」ことは各年代で1位となっており、「温泉」は50代・60代で上位項目となっている。
- 他県と比べた際の静岡県の魅力は、「自然環境」「首都圏に近い」「温暖な気候」「食べ物がおいしい」「富士山が見える」が上位項目となっている。

Q13 静岡県への移住に興味を持ったきっかけ ※複数回答可

※H30年度調査では単一回答→今回調査では複数回答。



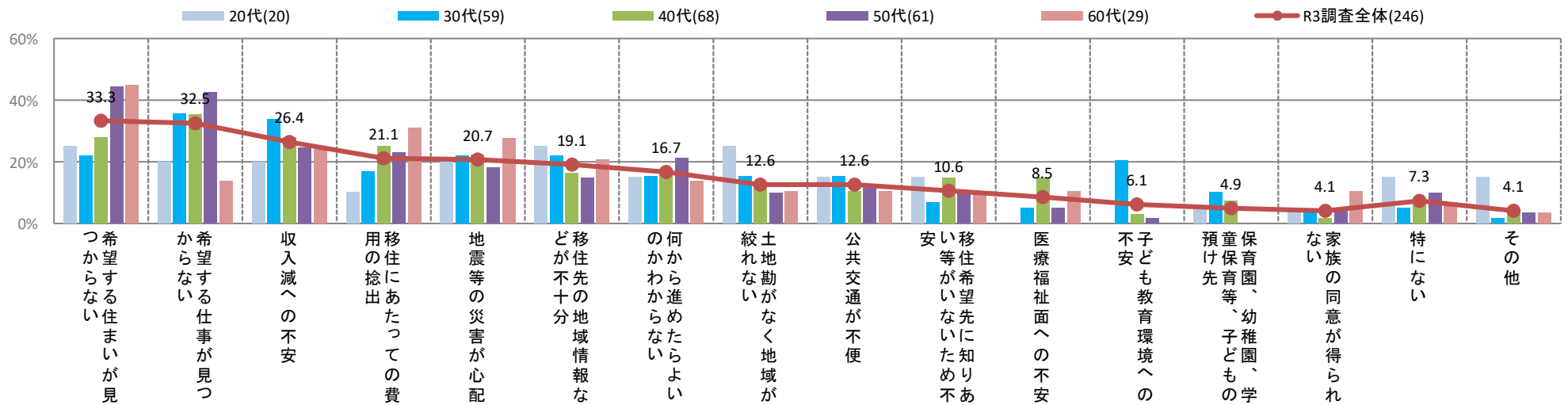
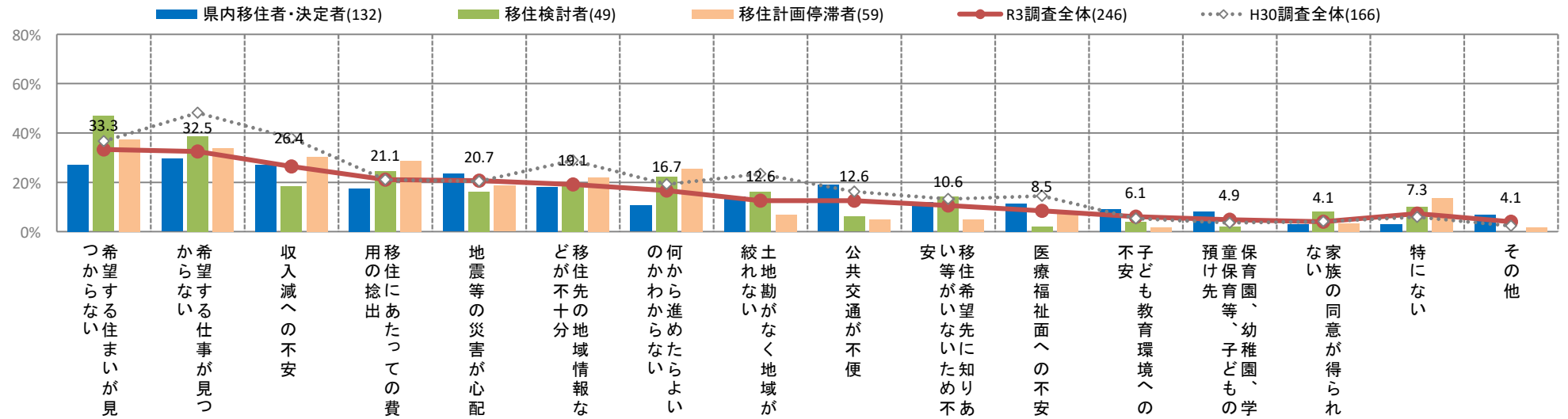
Q14 静岡県の魅力 ※複数回答可



静岡県への移住の検討について③

- 静岡県への移住を検討する上での課題については、「希望する住まいが見つからない」33.3%、「希望する仕事が見つからない」32.5%、「収入減への不安」26.4%が上位。移住計画停滞者では「何かを進めたらよいかかわからない」がやや高い。
- 年代別にみると、30代～50代で「希望する仕事が見つからない」、50代、60代で「希望する住まいが見つからない」が高い傾向となっている。その他、20代では「地域が絞れない」25.0%、30代では「子ども教育環境への不安」20.3%が高いのも特徴的である。

Q15 静岡県への移住を検討する上での課題 ※上位3つまで回答

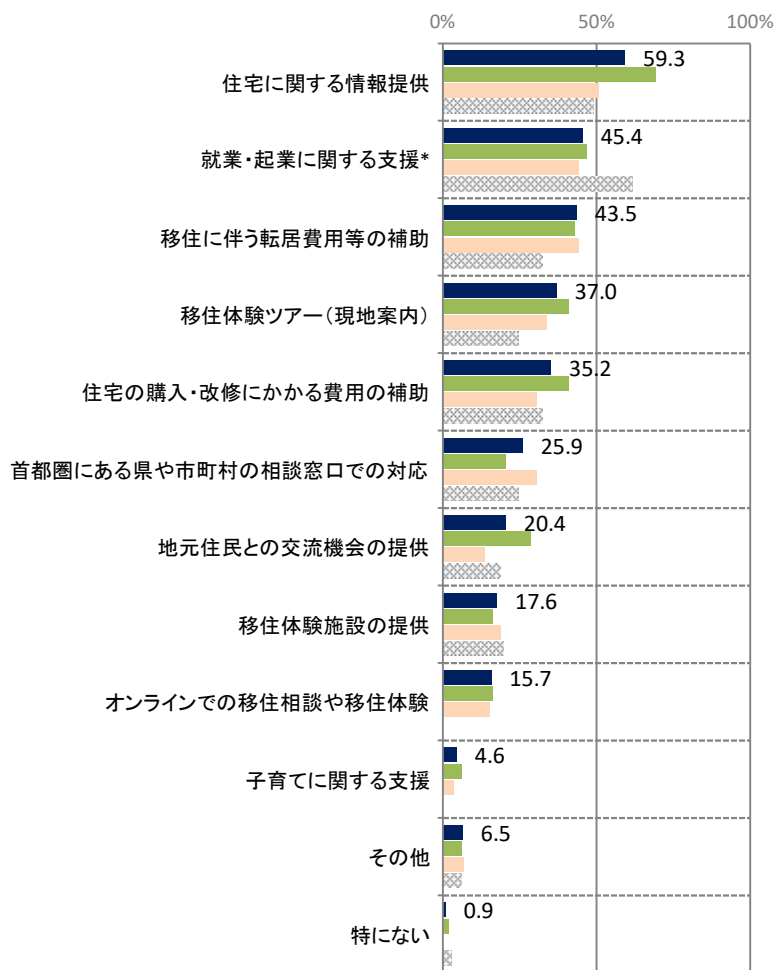


移住検討者について【移住検討者・移住計画停滞者のみ】

- 移住検討者・計画停滞者が求める支援策については、「住宅に関する情報提供」59.3%、「就業・起業に関する支援」45.4%、「移住に伴う転居費用等の補助」43.5%が上位となり、「住まい」「仕事」「資金の補助」に関する要望が上位を占めた。
移住検討者では「住宅に関する情報提供」が69.4%と高い割合となっている。

Q16 求める支援策（※移住の可能性が高まる）※複数回答可

- R3移住検討者・計画停滞者(108)
- 移住検討者(49)
- 移住計画停滞者(59)
- H30移住検討者・計画停滞者(102)



*H30年度調査では「就業・起業に関する情報提供」「就業・起業に必要な技術習得のための研修」「就業・起業に必要な資金の低金利での貸付」の3項目だったものを再集計。

Q17 移住検討において、困っていること／進まない理由（※抜粋）

【仕事・収入・資金の不安】 42件

- 現状の仕事を辞めて、移住しようと考えていますが、会社がなかなか辞めるにあたって、いい返事が返ってこない。(移住検討者/男50代)
- 移住後のバイト就職先がシニアの場合求人が少ない。(移住検討者/男60代)
- やはり仕事が決まらないので、なかなか難しいです。(移住検討者/女50代)
- 仕事が見つからないことです。観光業が多く、観光業、サービス業は希望していないのでなかなか見つかりません。実際に面接へ行きましたが、どちらも観光業でしたが、やはり懸念したため辞退した過去があります。(移住計画停滞者/男30代)
- 現職を続けるか、移住に伴い転職(起業含む)するかの検討が進まない。特にコロナ関係で、安易に現職を退職すべきではなくなってきたのも要因となっている。(移住計画停滞者/男50代)
- 移住後も現在の仕事をテレワーク等で継続できるかどうか不透明なので。(移住計画停滞者/女50代)

【住宅の確保】 26件

- 現在の年齢から、静岡県内での賃貸住宅を借りる条件が厳しくて、借りる事が難しい(年齢・単身・保証人など)。(移住検討者/男50代)
- 仕事は静岡IUターン就職支援センターで相談できているが、住居探しに不安がある。(移住検討者/女40代)
- 公共交通機関と住まいの関係がわからず絞りきれない。(移住検討者/女50代)
- 希望の賃貸が見つからない(移住計画停滞者/女50代)

【コロナ関連】 16件

- コロナ禍で現地に行けない。(移住検討者/男50代)
- 移住を検討していましたが、実際情報収集に動き始めたのがコロナ直後だったため、リアルイベントなどに参加できていない事。(移住検討者/女30代)

【家族の同意、家族関連の不安】 6件

【生活環境、医療体制、教育体制】 6件

【時間がない・情報収集が大変】 4件

【候補地が絞れない】 2件

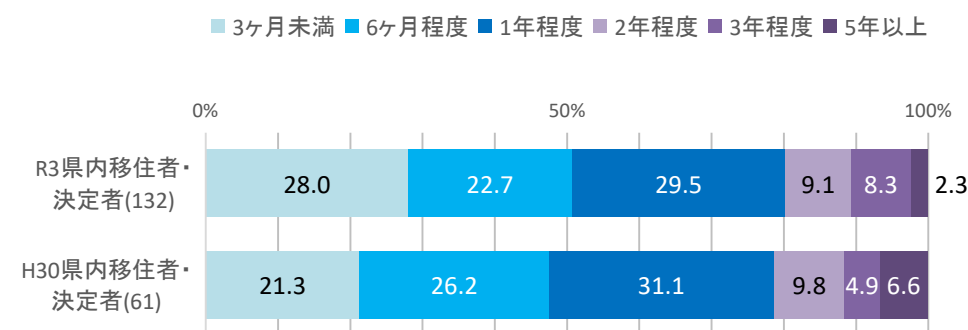
【その他】 22件

- 農業をしたいと思っています。一般サラリーマンが転身するには、ハードルが高すぎます。耕作放棄地等を活用して、面積の緩和、売買や借地の情報、週末等を利用した年単位の長期体験施設等、法制面も含めた支援を考えていただきたい。(移住停滞者/男50代)

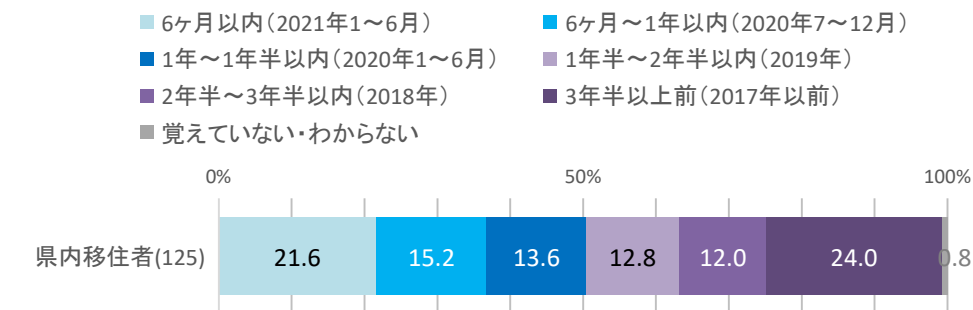
静岡県での移住生活について①【県内移住者・移住決定者のみ】

- 移住の検討から決定までに要した期間については、「1年程度」が29.5%と最も高く、「1年以内」に決定している割合は80.2%となっている。
- 移住した時期としては、「3年半以上前」が24.0%で最も高く、次いで「6ヶ月以内」が21.6%、「6ヶ月～1年以内」が15.2%で、1年以内の移住者は36.8%を占めている。
- 移住時期別で検討期間をみると、「3ヶ月未満」は【2020年7～12月】では47.4%、【2021年1～6月】では37.0%でトップとなっている。【2020年7～12月】と【2021年1～6月】との直近1年間の県内移住者では、「3ヶ月未満」と「6ヶ月程度」を合わせた『半年以内』が7割弱を占めており、それ以前の【2020年1～6月】から【2018年】までと比較すると、直近1年間の県内移住者は検討期間が短くなっている。なお【2017年以前】は、直近1年間と近い状況になっている。

Q20 移住の検討から決定までに要した期間

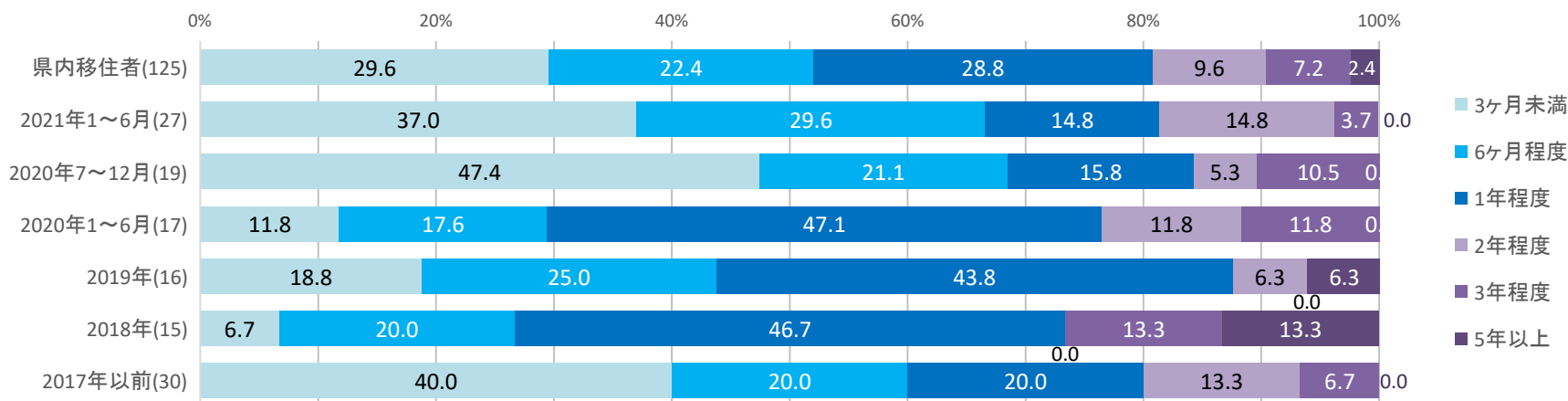


Q21 移住した時期(※県内移住者のみ)



Q20 移住の検討から決定までに要した期間

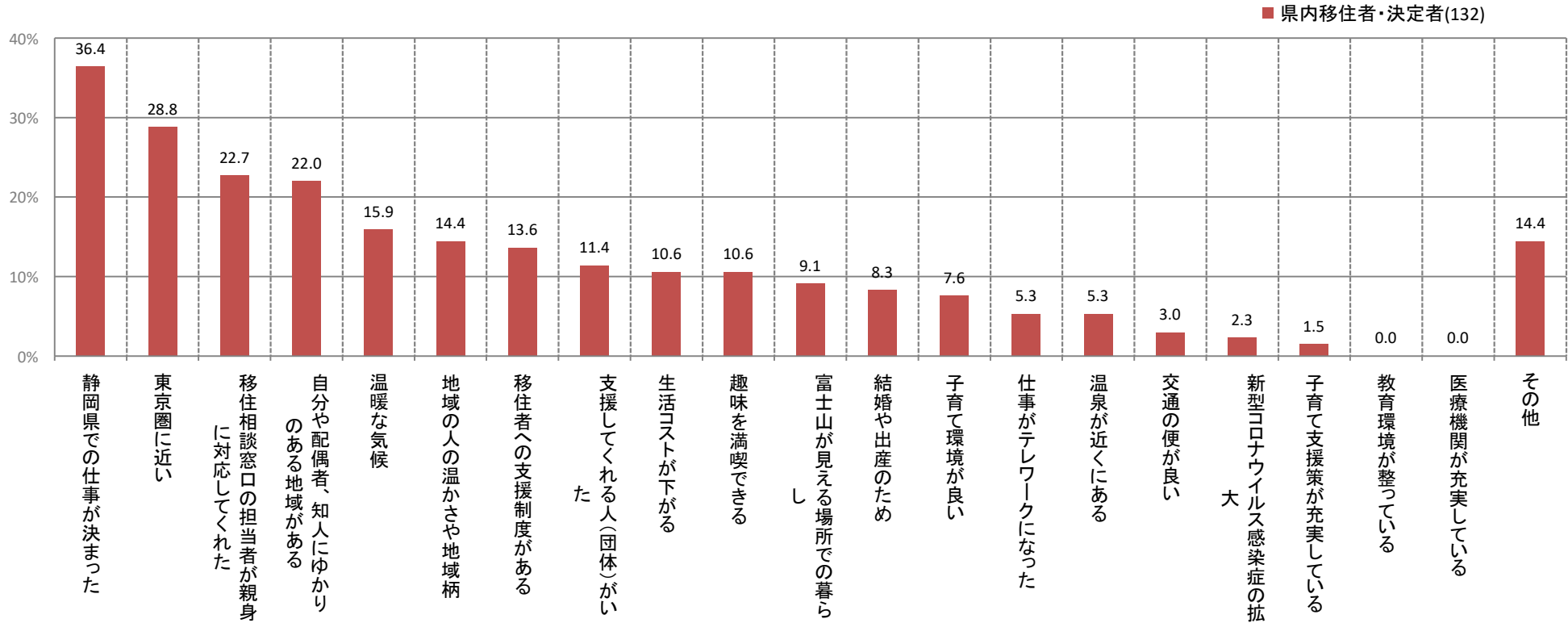
<移住時期別> ※県内移住者のみ



静岡県での移住生活について②【県内移住者・移住決定者のみ】

- 移住の決め手は「静岡県での仕事が決まった」が36.4%で最も高く、次いで「東京圏に近い」が28.8%、「担当者が親身に対応」22.7%、「ゆかりのある地域」22.0%といった、4項目が上位となっている。

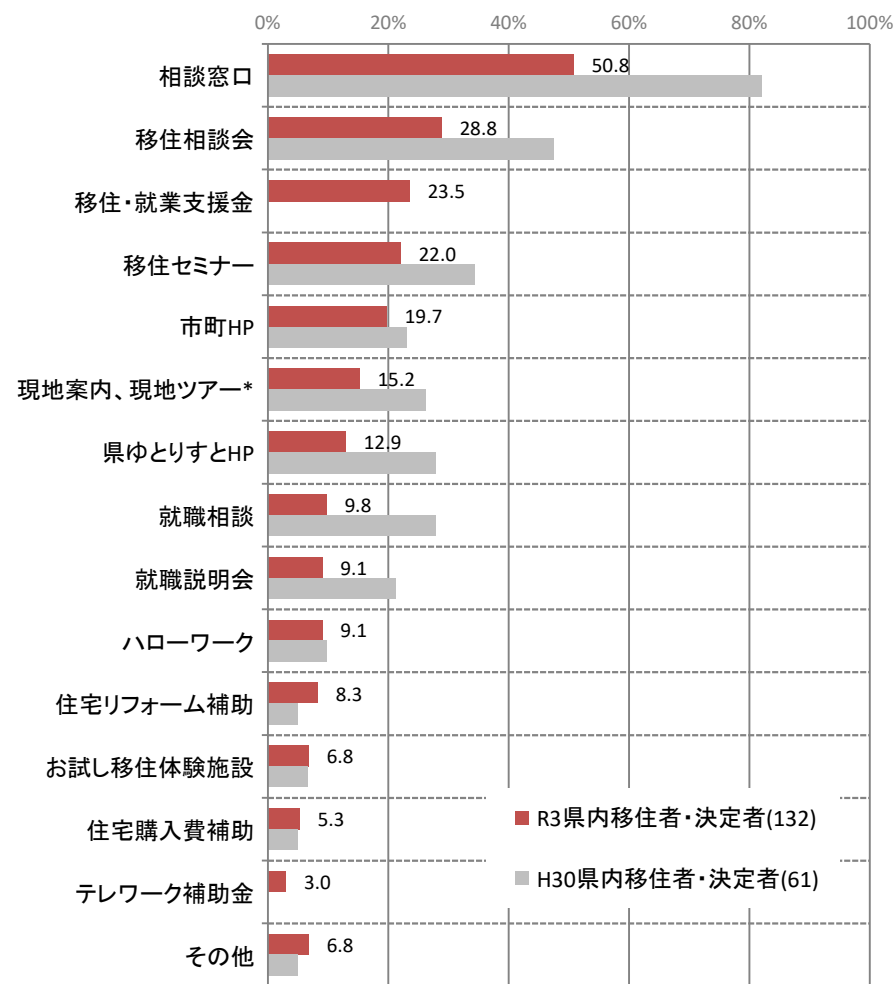
Q22 移住の決め手 ※上位3つまで回答



静岡県での移住生活について③【県内移住者・移住決定者のみ】

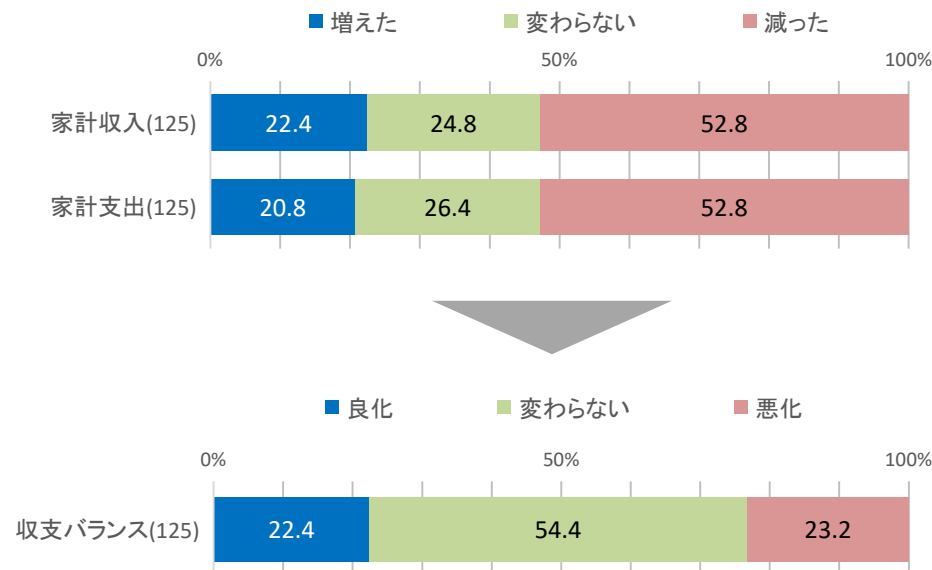
- 移住にあたって利用した制度については、「相談窓口」50.8%、「移住相談会」28.8%、「移住・就業支援金」23.5%が上位。前回調査と比べると、移住や就職に関する相談、「移住セミナー」や「現地案内、現地ツアー」などの参加型イベントなどの割合が大幅に減少しており、感染症拡大の影響とみられる。同様に「県ゆとりすとHP」も大幅に減少しており、相談会やイベントの減少が認知と利用に影響した可能性がある。
- 移住後の生活費は、収入・支出とも「減った」との回答が52.8%を占める。収入と支出をクロスさせると、移住前より「悪化」は23.2%に留まり、「変わらない」が54.4%、「良化」が22.4%となっている。

Q23 静岡県への移住にあたって利用した制度 ※複数回答可



*H30年度調査では「現地案内」、「現地ツアー」。

Q24 移住後の生活費の変化(※県内移住者のみ)



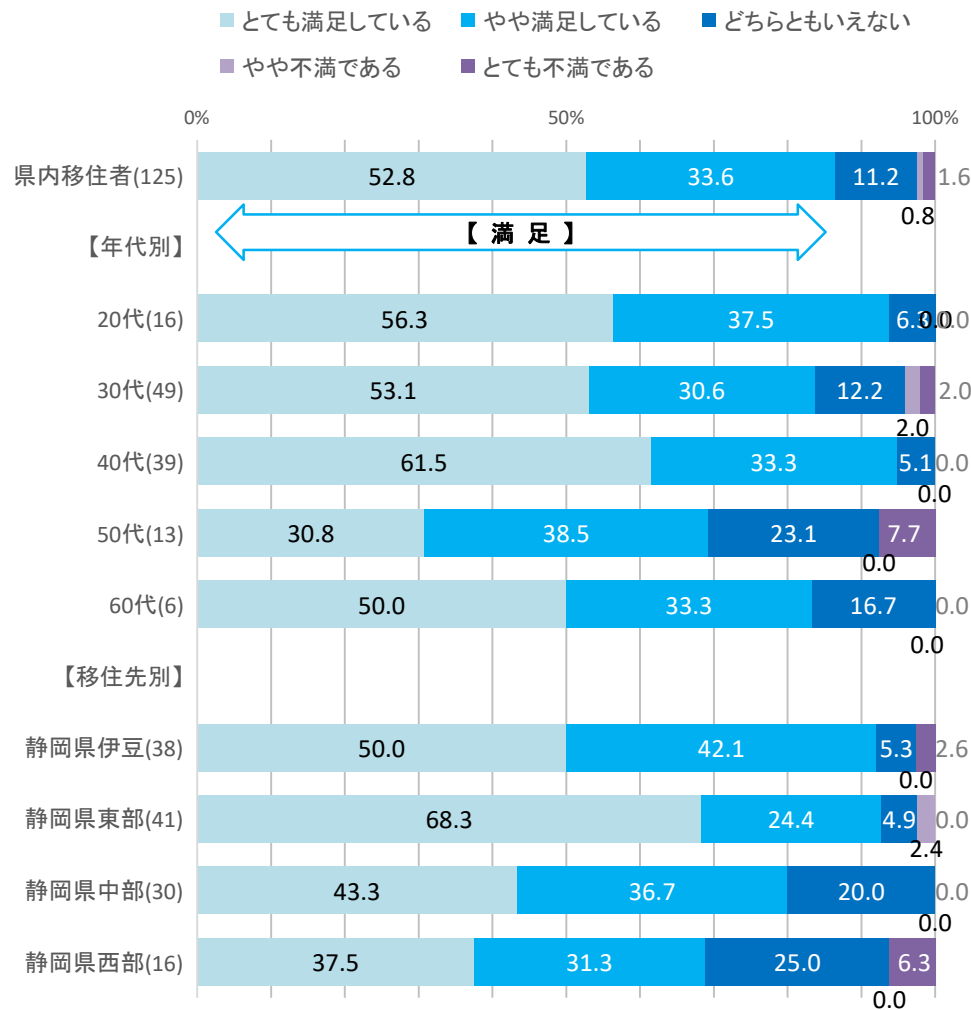
※家計収支の内訳(単位:人)

		家計支出			
		全体	増えた	変わらない	減った
家計収入	全体	125	26	33	66
	増えた	28	9	5	14
	変わらない	31	6	16	9
	減った	66	11	12	43

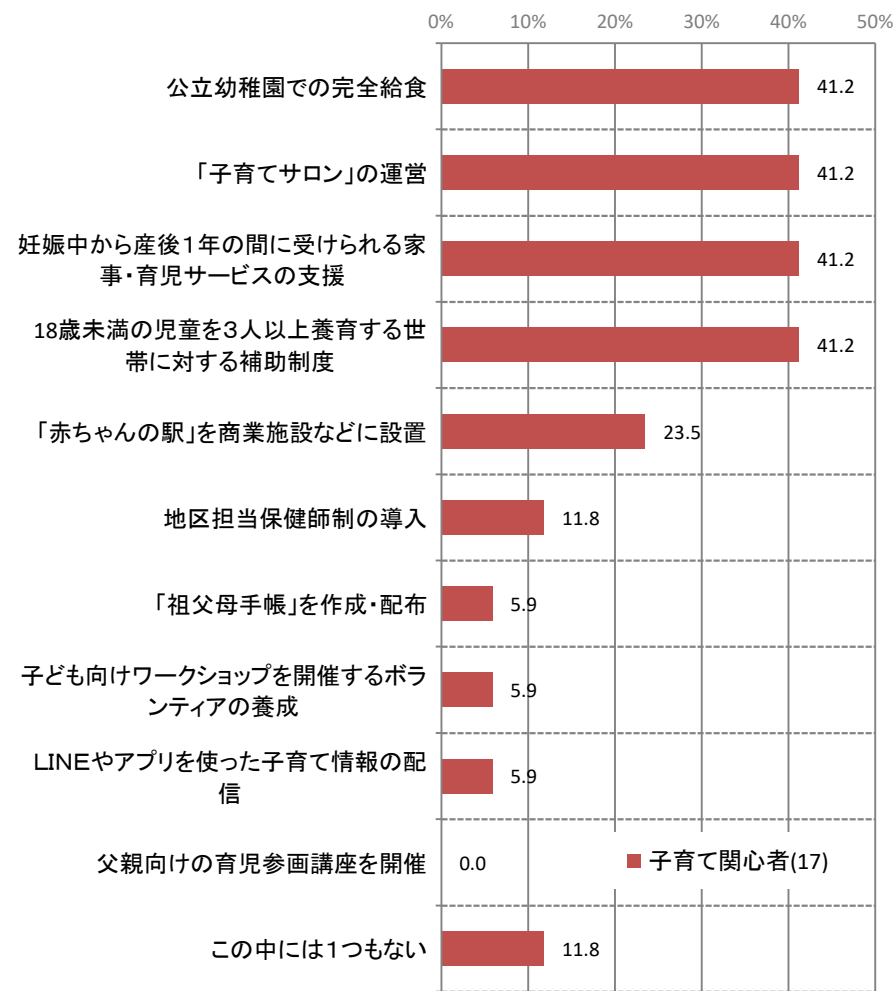
静岡県での移住生活について④【県内移住者・移住決定者のみ】

- 移住後の生活満足度については、「とても満足」が52.8%、「やや満足」が33.6%と、合わせて86.4%が【満足】と回答している。
年代別で見ると、50代で【満足】が69.3%とやや低く、移住先別では静岡県西部エリアで【満足】が68.8%と、他のエリアより低くなっている。
- 魅力を感じる子育て支援事業については、対象者が少ないので参考程度となるが、「公立幼稚園での完全給食」、「子育てサロン」の運営、「家事・育児サービス」、「3人以上養育世帯に補助」が上位となった。

Q25 移住後の生活満足度



Q29 魅力を感じる子育て支援事業(子育て環境に関心のある人*) ※上位3つまで回答



*Q16で「子育てに関する支援」、Q22で「子育て環境が良い」「子育て支援策が充実している」回答者。

Q26 よかったこと・イメージ以上だったこと（※抜粋）

【自然・気候】 40件

- ・ 雪が降らないので出費が少ない。(男20代／中部地域)
- ・ 気候が思った以上に過ごしやすい。夏に涼しく、冬に暖かい。(男40代／東部地域)
- ・ 海も山も、自然に触れあえる遊ぶ場所が沢山ある。(女30代／東部地域)
- ・ 家から海と富士山が見えると想像以上にホッとする。(女40代／東部地域)

【人との交流・気質】 24件

- ・ 人柄が温厚だと思っていたが、それ以上に県外の人を受け入れてくれる懐の深さ。(男40代／東部地域)
- ・ 暗く、閉鎖的ではなく、観光地からか明るい方が多い。(女30代／東部地域)
- ・ 地域の人とのふれあいが出来た。(女40代／伊豆地域)

【生活環境】 20件

- ・ 山間部に住んでいるが、Amazonなどで注文したものが届くので買い物には困らなかった。(男20代／中部地域)
- ・ 家賃が安い・部屋が広い・家を建てた。(男30代／西部地域)
- ・ 住まいが市の中心市街地ではないので、不便を感じることを覚悟していましたが、駅やスーパーマーケット、郵便局、図書館等が徒歩圏内にあり便利な住環境だったことがわかり助かっています。(男60代／伊豆地域)
- ・ 庭がある事で家庭菜園やガーデニングを楽しめることはコロナ禍で生活が制限される中プラスでした。(女50代／西部地域)

【食の環境】 12件

- ・ お茶のスイーツ類がたくさんあるところ。(男20代／中部地域)
- ・ 特産品がなさそうにみえたが、海産物、果物、畜産など農産物をはじめ飲食店も様々な美味しいものがある。(女30代／東部地域)

【交通機関、県外とのアクセス】 8件

- ・ 東京、名古屋、大阪等の首都圏や、地元である長野県へアクセスしやすい。(男20代／中部地域)
- ・ 電車等公共機関が空いている。(男40代／中部地域)
- ・ 新幹線通勤が思ったよりも快適。(男40代／東部地域)

【教育環境・子育て環境】 7件

- ・ 子供たちの学校教育がのびのびとしており充実している。(男50代／東部地域)
- ・ こども園に広い園庭があること。(女30代／西部地域)

【就業環境】 5件

【趣味・余暇】 2件

【その他】 11件

- ・ 人口密度が低い為か、新型コロナウイルス感染者数が首都圏に比べて格段に低いので、横浜市に暮らしていた時よりも精神的なダメージが少なくなった。(男60代／伊豆地域)

Q27 困っていること・イメージと違ったこと（※抜粋）

【交通事情】 24件

- ・ 歩道が揃っていないため歩きにくい。車社会過ぎる。(男30代／東部地域)
- ・ 電車がなく、駅までバスで1時間かかる。(男30代／西部地域)
- ・ 車社会で、移住当時、夫婦共にペーパードライバーだったので、苦労した。(女40代／中部地域)

【自然環境】 12件

- ・ 移住した朝霧高原は意外と寒く、夏でも布団が必要。梅雨時は湿気が強い。(男40代／東部地域)
- ・ 自然豊かすぎて虫が多い。(女20代／中部地域)
- ・ 首都圏に比べ、森や川、海が多いので、それらを大切にしているのかと思ったが、畑にゴミが埋まっている、ゴミが落ちている場面や除草剤を散布している場面をみかけたこと。管理されていない森が多く台風などで倒れていること。(女30代／東部地域)

【仕事・収入】 10件

- ・ 再就職ににくい。(派遣は見つかったも正社員は無い)・地場企業の給料が随分と安い。(男40代／東部地域)
- ・ 仕事が見つからなくてまだ求職中です。過剰要求かもしれませんが就労のサポートまで最後までしっかりやって欲しい。(男50代／東部地域)
- ・ 思うような仕事に就けない。本当は子育てしながらでも、もっとバリバリ働いてたくさん収入を得たい。(女30代／西部地域)

【人付き合い】 9件

- ・ 同世代や移住者との繋がりがなく、同じ町内会以外の人とほとんど知り合っていない。(女20代／東部地域)
- ・ 気さくで優しい人柄の方が多いと思っていたが、住んでみると年の方はそうだが、若い世代ほど割りど閉じていて都会と変わらないんだなと思った。(女50代／中部地域)

【住環境】 8件

- ・ 空き家は多いのに物件情報が非常に少ない。(男30代／伊豆地域)
- ・ ファミリータイプの賃貸物件が少ない。(男40代／東部地域)
- ・ 中古の家を賃貸する場合、最低限の設備(水道など)が使えなかったり、住環境に関して事前に開示されていないことが多々ある。(女50代／西部地域)

【医療体制】 5件

【買い物環境・食生活】 5件

【教育・子育て】 4件

【自治体の対応】 3件

- ・ 移住者支援の少なさ。(男40代／伊豆地域)

【刺激・情報】 3件

【その他】 2件

Q28 定住のために必要な支援（※抜粋）

【就業・収入】 40件

- 仕事が合わずに移住生活を諦める移住民を何度か見てきているので、就職相談等は特に手厚くあるべきだと思います。(男20代／東部地域)
- 自分は独立・起業したので、そういった若者への支援制度。(男30代／西部地域)
- 就労支援。もっと求人を選択肢があるとよかった。(男40代／中部地域)
- 普通のサラリーマンであっても安心して移住できるだけの収入を担保してあげられる仕組みが必要。はっきり言って20歳代の預貯金が少ない世代を除けば、転居費用や家賃補助程度で移住を決断する人はほとんどいないと思う。20歳代の移住による出生数増の期待はあるだろうが、その効果が出るのは10年後かもしれない。それよりも30～50歳代の高付加価値の人材が安心して移住できるようにし、彼ら彼女らが新たに創り出す経済的価値による税収増を目指すなければ、地方が目指している「経済の維持と人口増」は実現できないのではないか？「地域活性化」という漫然とした具体性のないお題目のもと、現在の20歳代の活躍を当てにするのは時間がかかるし、成功率も不明だし、他力本願すぎる。現在行われている移住者促進策では、日本中どここの半端な状態のままとなり「全負け」の未来が待っていると私は思う。バソナが淡路島移転したように移住と雇用を同時に実現できる仕組みを用意しなければ、人材を質量ともに確保することは絶対に困難だと考える。(男50代／東部地域)
- 移住補助金を使いました。わたしは正社員で諸々条件に当てはまりましたが、フリーランスや静岡で起業した方は条件が当てはまらず、そういった方々にこそ必要な支援だし、活用できたらもっと移住、起業する人も増えると思いました。たしかにある程度審査はした方がいいとは思いますが、フリーランスから起業して街の活性化を頑張っている方もいるので支援金の審査基準を変えられたら嬉しいと思います。(女20代／伊豆地域)
- テレワーク補助制度の条件緩和。(女40代／伊豆地域)

【住宅】 30件

- 市内全体のどこの土地で家を建てても支援いただける制度。海沿いでは土地が安く支援をいただけても活用しづらいため。(男30代／中部地域)
- 県外からの移住で、最初から住宅を購入するのは若干敷居が高いと思います。まずは賃貸住宅に移住し、1～2年程度で長期定住のための住宅を購入するのが、現実的な移住スキームと思われる。このようなプランで移住を希望する人が利用できる補助金があると、移住希望者が増えるのではないのでしょうか。(男40代／東部地域)
- お風呂、台所、トイレの確保。住居(空き家)の提供や仲介は、とてもありがたいが、水回りだけでも、市町村で使用可能な状態に揃えてからの貸し出しだと助かる。今は現状での貸出が原則で、物件によって家賃と状態にバラツキがあり、移住するタイミングで出会える物件が異なり、手直しにかかる費用も幅があるため。縁、運ということで話がまとめられる。(女30代／東部地域)
- 移住時だけでなく、移住後数年間における住宅購入の補助。または賃貸の場合の補助。住んだことのない土地で初回から家を購入するのは難しく、ある程度土地勘ができてから購入したい。その時の支援があった方が定住者は増えると思う。(女30代／東部地域)
- 家を貸す側にも指導が必要だと思います。(女50代／西部地域)

【地域の人・移住者同士の交流】 27件

- 近所の人とのコミュニケーションの場。(男30代／東部地域)
- 私の移住地のように地域住民全体が移住に対してポジティブな考えを持っていること。(男40代／東部地域)

- 移住者への対応はこちらからアプローチを取らない限り皆無です。移住した人の、移住後のケアが大切なのではないでしょうか？知らない土地に来て知り合いもほぼ居ない中、移住者同士の集まり等の開催がないと、移住先には馴染めません。(男50代／東部地域)
- 移住者の為のサークルなど、個人ではなく公的な大きいものがあるといい。(女30代／東部地域)

【移住前の情報提供】 15件

- 市によって移住定住への力の入れ方が違いすぎるので、情報交換をしっかりとの方がいいと思います。支援の話はそのあとからだと思います。(男30代／中部地域)
- 地域の良い面も悪い面も情報を伝えること。自治体が主体となり複数回体験ツアーに参加することを推奨する。(男40代／伊豆地域)
- 住む予定の場所の、公共交通機関についての事前情報提供。住む予定の場所の、ゴミ出し方法についての事前情報提供。(男40代／東部地域)
- 移住前に、移住者との接点を持ち、移住のメリットやデメリットを共有する。移住先としていいかどうかよく検討できるようにする。(女30代／東部地域)
- 最新の情報提供。リアルな暮らしの情報。(女30代／伊豆地域)

【車、移動】 12件

- 交通機関の充実。(男50代／伊豆地域)
- 車がないと不便なので、補助していただけると助かる。(女50代／西部地域)

【教育・子育て】 11件

- 親の仕事状況に関わらず、十分に子供の預け先があること。子供が園に通えるよう、何とか仕事を見つけて働いている感じ。(女30代／西部地域)
- 保育園の入りやすさ！首都圏の人は保育園に入れなくて困っているので、保育園の入りやすさをアピールしたほうが子育て世代にアピールできます。そのためにも、駅の近くに保育園が欲しいです。いま三島駅のすぐ近くには保育園がなく、導線が悪くて通いにくい。家→保育園→三島駅と行ける、19時までやってくれる保育園ができれば、子育て世代の移住者は増えると思います。(女40代／東部地域)

【移住後のフォロー体制】 9件

- 参加は任意としつつも、移住後に状況をモニタリングする機会を設定する。(男40代／東部地域)
- 移住後の定期的なカウンセリング等。(女30代／伊豆地域)
- 山村地区への移住者はいかに周りと溶け込み生活を理想していたものへと近づけるかが、安住の決め手だと思う。移住者にしからわらない悩みや戸惑いを周りと共有できる環境や、公的機関の支援などに支えてもらう事は大切。移住専門の独立した機関が必要。ここに聞けば移住の全てを統括してますみたいな。住む所は不動産、仕事はハローワークへ、子どもは教育委員会へなど、相談機関がバラバラでただ振るだけの名前ばかりの移住機関では移住者はここに住みたい、住み続けたいとならないのではと思う。(女50代／中部地域)

【その他】 8件

- 子供の居る夫婦に着目しがちだが、子供の居ない夫婦への支援も必要。働き盛りが二の足を踏むと思う。我が家はそのケース。(男40代／東部地域)